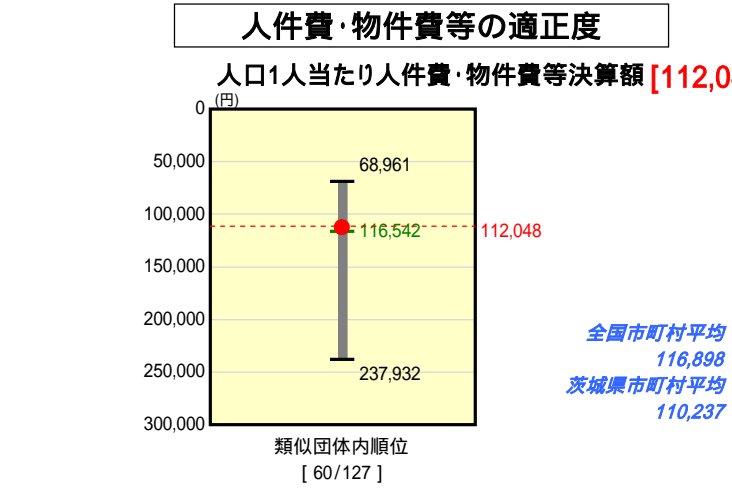
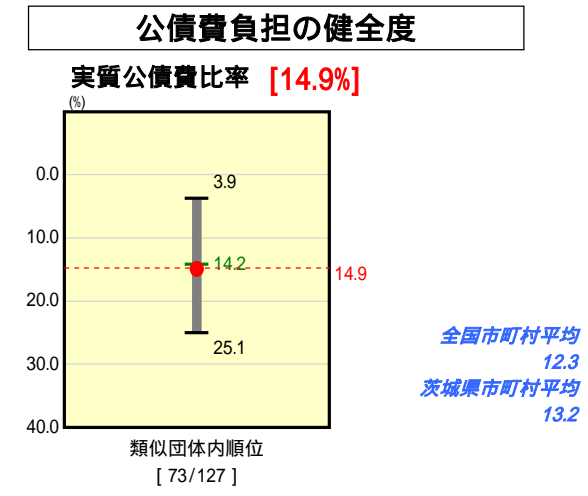
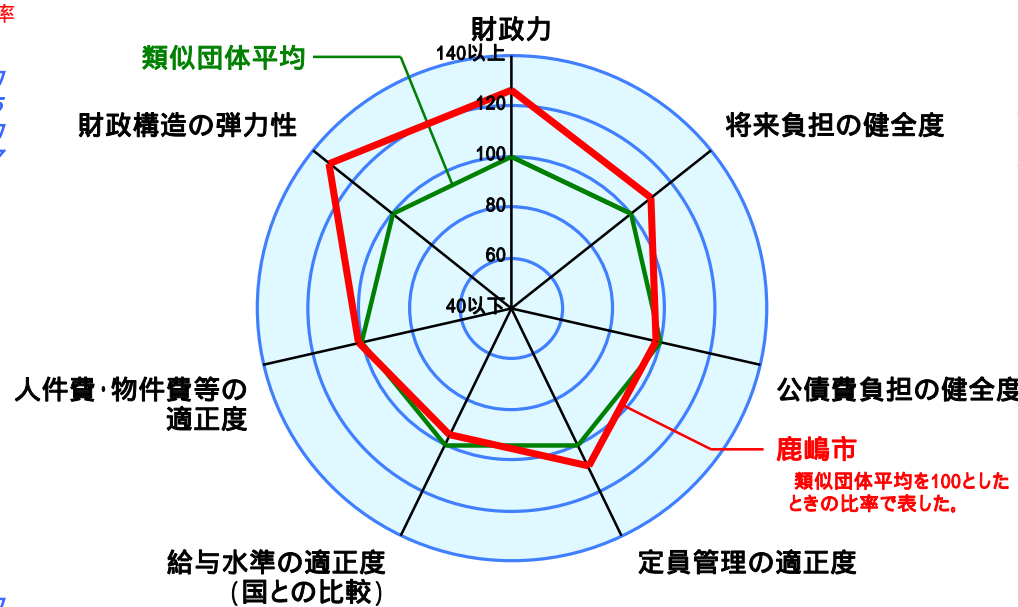
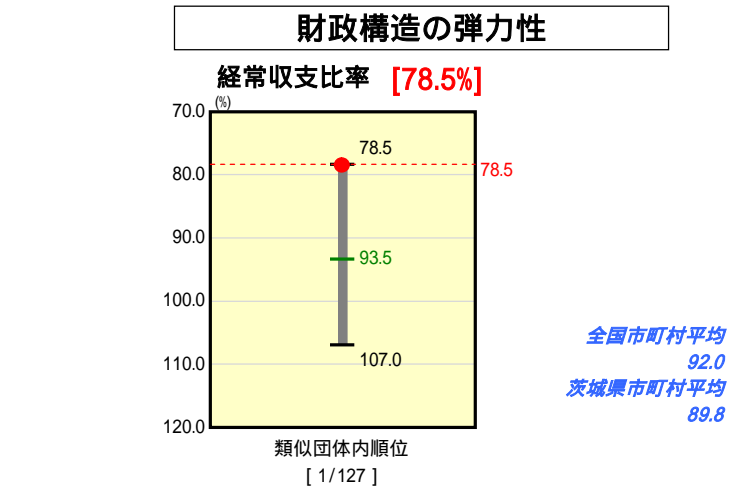
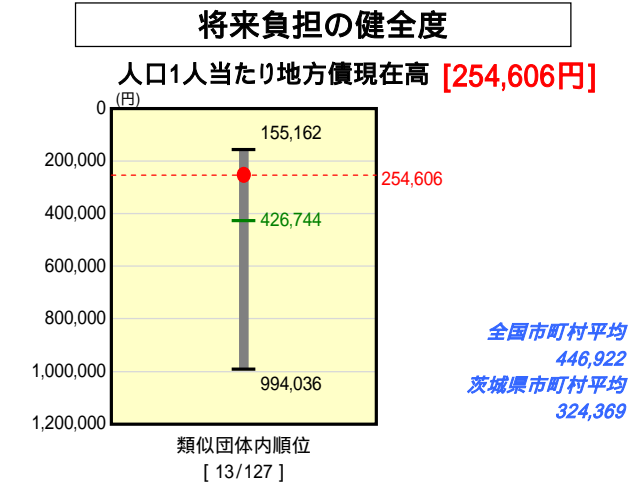
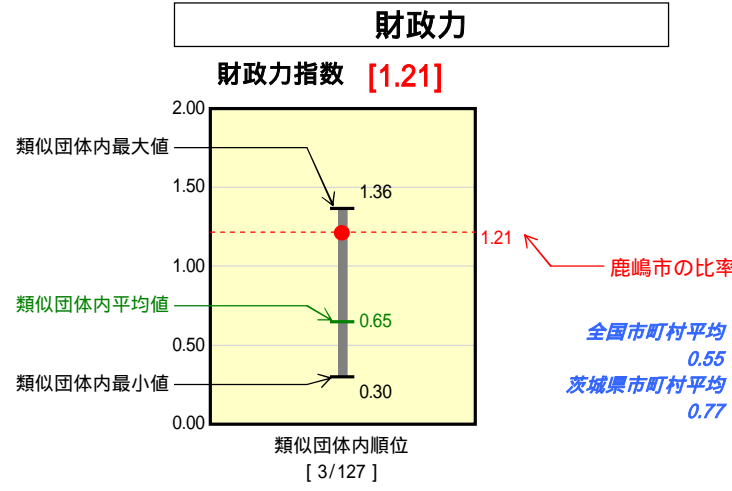


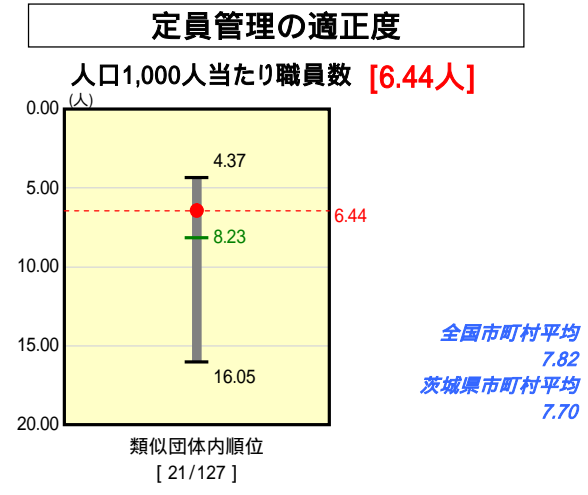
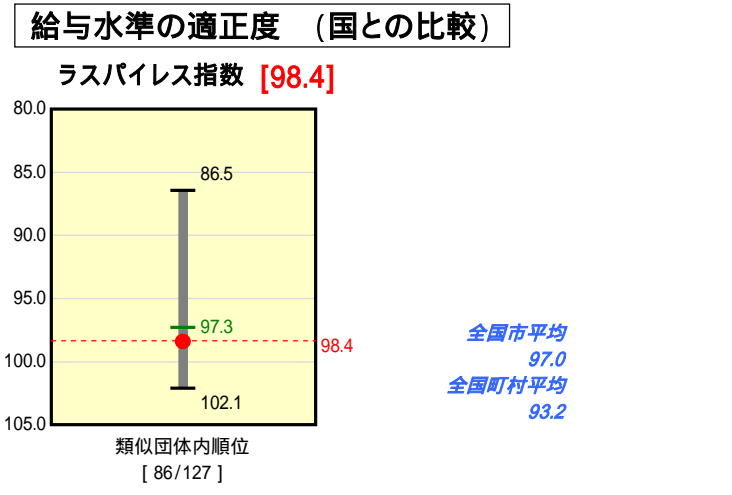
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県 鹿嶋市

人口	65,692	人(H20.3.31現在)
面積	92.96	km ²
歳入総額	21,968,631	千円
歳出総額	20,445,841	千円
実質収支	1,347,998	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

【財政力指数】
鹿嶋臨海工業地帯を有し、類似団体の中では上位3番目に位置している。市税の増収等に伴い、ここ6年連続して伸びており、平成20年度は1.36に上昇する。引き続き、市税等の収納率の向上等、自主財源の確保に努める。

【経常収支比率】
全国平均、類似団体平均とも90%（適正は80%以内）を超えている中、市税の増収や定員適正化計画の推進等に伴う人件費の抑制等により、類似団体の中で、最も低い78.5%となっている。
引き続き、「80%以下」の維持に向けて、定員適正化計画の推進や市税等の収納率向上、起債の抑制等に取り組む。

【人口1人当たり人件費・物件費等の決算額】
類似団体平均、全国平均を下回っている。内訳は、英語教育の推進（委託費）や小中学校の施設改修等により、物件費及び維持補修費は類似団体平均を上回っているが、人件費は、職員数の減等により、類似団体平均を大きく下回っている。

【ラスバイレス指数】
類似団体平均をやや上回っているが、給与構造改革に伴う新給与制度の導入や諸手当の見直し、人事評価制度（目標管理及びプロセス評価）を実施しており、今後も改善に努めていく。

【人口1人当たりの地方債現在高】
合併建設計画（平成7年合併）の推進に伴う市債の発行により、平成9年度に322,967円とピークを迎えたが、近年の起債抑制により、類似団体平均を大きく下回っている。
今後も、将来の健全な財政運営を見据え、市債管理計画等を通じ、適切な市債管理に努める。

【実質公債費比率】
類似団体平均14.2%に対し、当市14.9%と平均的な値となっている。当比率は、3ヵ年平均で算出されるが、平成19年度単年度の比率は11.9%となっている。

【人口1,000人当たり職員数】
退職者が増加する中、新規採用の抑制や嘱託職員等の活用、民間委託の推進等により、類似団体平均を大きく下回っている。引き続き、定員適正化計画を推進するとともに、人事評価（目標管理制度等）や研修等を通じ、職員個々の資質、能力の向上を図り、市民サービスの質を確保する。